

國學院大學学術情報リポジトリ

スタッフ紹介

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2023-02-08
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者:
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://k-rain.repo.nii.ac.jp/records/1809

スタッフ紹介

* 氏名、現職、専門分野、担当プロジェクト、および 2010 年度の研究業績について紹介しています。今年度新任のスタッフには、研究紹介および 2010 年度以前の研究業績についても掲載しています。

井上 順考 所長・教授 宗教学・宗教社会学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

〔単行本〕

- ・（編集責任）『インターネット時代における宗教情報リテラシーに関する研究』（國學院大學）、2010 年 7 月
- ・（編集責任）『第 10 回学生宗教意識調査報告書』（國學院大學）、2011 年 2 月

〔論文〕

- ・「グローバル時代と企業にとっての宗教文化」（『國學院大學研究開発推進機構 日本文化研究所年報』、國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所）、2010 年 9 月
- ・「映画・ビデオ・DVD」（渡邊直樹責任編集『宗教と現代がわかる本 2011』、平凡社）、2011 年 3 月

〔その他〕

- ・（国際学会でのコメント）パネル「Mythology and Japan」（第 20 回 IAHR 会議、トロント）、2010 年 8 月
- ・（学会でのパネル司会）パネル「メディア報道と現代宗教研究」（日本宗教学会第 69 回学術大会、東洋大学、2010 年 9 月）
- ・（対談）「経営者にとっての宗教」（和田一夫氏との対談）（渡邊直樹責任編集『宗教と現代がわかる本 2011』、平凡社）、2011 年 3 月

斉藤 こずゑ 教授 教育心理学、発達心理学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

〔単行本〕

- ・（責任編集）『児童心理学の進歩 Vol.49 [2010 年版]』（日本児童研究所編、金子書房）2010 年 6 月
- ・（分担執筆）「第 5 章 保護者の特性に応じた育児支援 4 多文化・多言語の保護者への支援」（藤崎真知代・大日向雅美編著『シリーズ臨床発達心理学・理論と実践 2 育児のなかでの臨床発達支援』、ミネルヴァ書房）、2011 年 3 月

〔ポスター発表〕

- ・「映像ナラティブとしての映像実践の特性分析」（日本発達心理学会第 22 回大会、東京学芸大学）、2011 年 3 月

遠藤 潤 准教授 日本宗教史

担当プロジェクト「『國學院大學 国学研究プラットフォーム』の構築」

〔論文〕

- ・「國學院大學学術資料館所蔵 羽田野神主家文書 仮目録」（『國學院大學研究開発推進機構紀要』3、國學院大學研究開発推進機構）、2011 年 3 月

〔口頭発表〕

- ・「黄泉国論争—平田国学の他界像と近代—」（日本宗教学会第 69 回学術大会、東洋大学）、2010 年 9 月

- ・「近世日本のスピリチュアリズム—文人の著述にみる—」（東洋英和女学院大学死生学研究所 2010 年度第 3 回研究会、東洋英和女学院大学）、2010 年 10 月
- ・「平田国学における〈靈的なもの〉—靈魂と世界像の近代—」（日本思想史学会 2010 年度大会、岡山大学）、2010 年 10 月

黒崎 浩行 准教授 情報化と宗教、現代社会と神社神道

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

〔論文〕

- ・「神社とインターネットの結びつきの深層」（石井研士編『神道はどこへいくか』、ぺりかん社）、2010 年 11 月
- ・“Preserving the Dignity of Shinto Shrines in the Age of the Internet: A Social Context Analysis.” *Japanese Religions on the Internet: Innovation, Representation, and Authority*, E. Baffelli, I. Reader and B. Staemmler (eds.), Routledge, 2011 年 1 月

〔口頭発表〕

- ・（共同発表）「日米宗教思想の再構築—思想空間法を用いた体系化の一例—」（情報処理学会第 87 回人文科学とコンピュータ研究会発表会、皇學館大学）、2010 年 7 月 31 日
- ・「宗教文化資源とまちづくりの諸相」（日本宗教学会第 69 回学術大会、東洋大学）、2010 年 9 月 5 日

〔その他〕

- ・（項目執筆）「情報化」（星野英紀・池上良正・氣多雅子・島蘭進・鶴岡賀雄編『宗教学事典』、丸善）、2010 年 10 月

平藤 喜久子 准教授 神話学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

〔論文〕

- ・「植民地帝国日本の神話学—昭和前期の日本神話研究を中心に—」（竹沢尚一郎編『宗教とファシズム』、水声社）、2010 年 6 月
- ・「新出の B・H・チェンバレン、E・B・タイラー宛書状の紹介と検討」（千々和到・福島直之・石井敦・星野靖二との共著、『國學院大學研究開発推進機構紀要』3、國學院大學研究開発推進機構）、2011 年 3 月 31 日

〔口頭発表・講演〕

- ・Panel “Mythology and Japan”, (organizer), XXth IAHR World Congress, 2010 年 8 月 20 日
- ・「日本神話学再考—ファシズム期を手がかりに—」（日本宗教学会第 69 回学術大会、パネル「ファシズム期の宗教と宗教研究」、東洋大学）、2010 年 9 月 4 日
- ・“What is Scientific Mythology?”, Radcliffe Exploratory Seminar on Comparative Mythology, 2010 年 10 月 7 日

〔その他〕

- ・（分担執筆）「国生み」（『歴史読本（特集：ここまでわかった！日本の神話）』2010 年 4 月号、新人物往来社）、2010 年 4 月
- ・「古事記、日本書紀の神々の物語」（『一個人』2011 年 2 月号、KK ベストセラーズ）、2010 年 12 月
- ・（分担執筆）「国生み」（『歴史読本』編集部編『そうだったのか！すっきりわかる日本の神話』、新人物往来社）、2011 年 1 月

ノルマン・ヘイヴンズ (HAVENS, Norman) 准教授 日本宗教史、日本の民間信仰
担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

松本久史 准教授 近世・近代の国学・神道史
担当プロジェクト「『國學院大學 国学研究プラットフォーム』の構築」

【口頭発表】

- ・ 鈴門国学と因伯神葬祭運動」（日本宗教学会第 69 回学術大会、パネル「〈靈魂の学知〉と政治運動 — 19 世紀の鈴屋と気吹舎を焦点に一」、東洋大学）、2010 年 9 月 4 日

塚田穂高 助教 宗教社会学、近現代日本の宗教運動
担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

【論文】

- ・ 「現代日本における「宗教」と「社会」のあいだ—政治と宗教・宗教事件・不活動宗教法人問題・裁判員制度からの眺望—（国内の宗教動向）」（財団法人国際宗教研究所編『現代宗教 2010』、秋山書店）、2010 年 8 月
- ・ 「幸福の科学とその政治進出について—この運動に我々はどう向きあうか—」（『政教関係を正す会会報』38、政教関係を正す会）、2011 年 3 月

【口頭発表】

- ・ 「日本の宗教社会学、宗社研／オウム事件以降—「宗教と社会」学会と会員は何をしてきたか—」（「宗教と社会」学会第 18 回学術大会、テーマセッション「現代社会における宗教社会学の可能性—「世俗化論」以後の課題と応答—」、立命館大学）、2010 年 6 月
- ・ 「幸福の科学とその政治進出について—この運動に我々はどう向き合うか—」（政教関係を正す会研究会、神社本庁）、2010 年 7 月
- ・ 「総論—RIRC 宗教記事データベースの特徴—」（日本宗教学会第 69 回学術大会、パネル「メディア報道と現代宗教研究—RIRC 宗教記事 DB の可能性—」、東洋大学）、2010 年 9 月

【その他】

- ・ 「北海道砂川市有地神社の最高裁違憲判断とその余波—RIRC 宗教記事データベース所収記事から見えてくるもの—（研究ノート）」（『ラーク便り』46、宗教情報リサーチセンター）、2010 年 5 月
- ・ 「コメント 3. 宗教社会学・新宗教研究の領域から（テーマセッション報告「カルト／スピリチュアリティ／現代宗教の把握—藤田庄市著『宗教事件の内側』、櫻井義秀編著『カルトとスピリチュアリティ』を題材に一）」（『宗教と社会』16、「宗教と社会」学会）、2010 年 6 月
- ・ “Religious Issues in Japan 2009 : Religion and Society in Contemporary Japan” (translation by B. Dorman, P. Swanson, D. White) in *Bulletin of the Nanzan Institute for Religion & Culture* Nr.34 (2010), 2010 年 8 月
- ・ 「北海道砂川市有地上神社違憲訴訟—政教分離問題の現在とその射程—」（渡邊直樹責任編集『宗教と現代がわかる本 2011』、平凡社）、2011 年 3 月

星野靖二 助教 宗教学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

[口頭発表]

- ・“the Place of “Shinko (belief)” in “Shukyo (Religion)” in Modern Japan: An Inquiry into Narratives and Practices” in the panel “Appropriation of the Western Concept of “Religion” in Asian Cultural Traditions” organized by TSURUOKA Yoshio and IKEZAWA Masaru, at the XXth IAHR world congress, Toronto University, 2010 年 8 月 20 日
- ・「熊本時代の中西牛郎一明治十年代の宗教論の位相一」（日本宗教学会第 69 回学術大会、東洋大学）、2010 年 9 月 5 日

[その他]

- ・「新刊紹介一坂本慎一『ラジオの戦争責任』」（『近代仏教』17、日本近代仏教史研究会）、2010 年 5 月
- ・（編集・解説・解題）島蘭進監修、島蘭進・高橋原・星野靖二編集『日本の宗教教育論 第 2 回』全 7 巻、クレス出版、2010 年 7 月
- ・「書評特集『宗教の歴史のいま』」（『国際宗教研究所ニュースレター』69、財団法人国際宗教研究所）、2011 年 1 月

市川 収 客員研究員 惑星物質科学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

カール・フレレ (FREIRE, Carl) 客員研究員 近代の日本史（特に社会史・思想史）

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

李和珍 PD 研究員 宗教社会学、日韓の新宗教教団の比較研究

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

[論文]

- ・「圓佛教教徒の意識調査—アンケート調査の分析を中心に—」（國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所年報）3、國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所）、2010 年 9 月

市田雅崇 PD 研究員 民俗宗教研究

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

[口頭発表]

- ・「能登半島における白山信仰」（日本山岳修験学会第 31 回白山学術大会、白山市民交流センター）、2010 年 10 月

[その他]

- ・「峨山道をめぐる道の宗教性」（『道の宗教性と文化的景観』（研究代表：鈴木正崇、平成 20 年度～ 22 年度科学研究費補助金 基盤研究 C 研究成果報告書）、2011 年 3 月

ヤニス・ガイタニデイス (GAITANIDIS, Ioannis) PD 研究員 医療人類学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

[博士論文]

- ・『Spiritual Business? A Critical Analysis of the Spiritual Therapy Phenomenon in Contemporary Japan』, University of Leeds, 2011 年 1 月

[口頭発表]

- ・“Consuming Transcendence: Spiritual Therapists or the Otaku of the Spiritual” , White Rose East Asia Centre Away Day, University of Sheffield, 2010 年 5 月 18 日
- ・“Gender and Spiritual Therapy in Japan” , Gender Perceptions and Practices in East Asia Workshop, White Rose East Asia Centre, University of Sheffield, 2010 年 6 月 7 日
- ・“Battling with Japanese Magico-Religious Language” , Languages for the 21st century: training, impact and influence, University of Sheffield, 2010 年 9 月 2 日
- ・“Spiritual Therapists in Contemporary Japan: Consuming Explanations for Distress” , British Association of Japanese Studies Triennial Conference, SOAS, 2010 年 9 月 9 日

[その他]

- ・(研究ノート) “Socio-economic aspects of the ‘spiritual business’ in Japan - a survey among professional spiritual therapists” (『宗教と社会』16、「宗教と社会」学会)、2010 年 6 月
- ・(エッセイ)「思い込みのないよそ者」(『国際宗教研究所ニュースレター』69、財団法人国際宗教研究所)、2011 年 1 月

小林 威朗 PD 研究員 近世後期の国学・神道史

担当プロジェクト「『國學院大學 国学研究プラットフォーム』の構築」

[論文]

- ・『『靈能真柱』の靈魂観一宣長の継承者としての篤胤一』(『國學院大學研究開発推進機構紀要』3、國學院大學研究開発推進機構)、2011 年 3 月

[口頭発表]

- ・『『靈能真柱』に語られた神と靈魂』(日本宗教学会第 69 回学術大会、パネル「〈靈魂の学知〉と政治運動—19 世紀の鈴屋と気吹舎を焦点として—」、東洋大学)、2010 年 9 月 4 日

今井 信治 研究補助員 宗教社会学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

[論文]

- ・「コンテンツがもたらす場所解釈の変容—埼玉県鷲宮神社奉納絵馬比較分析を中心に—」(『コンテンツ文化史研究』3、コンテンツ文化史学会)、2010 年 4 月

[その他]

- ・Anime “Sacred Place Pilgrimages” : The potential for bridging traditional pilgrimage and tourism activities through the behavior of visitors to anime “sacred places” -An analysis of “votive tablets” (ema) at Washinomiya Shrine, Saitama Prefecture- (translation by Gagne, Isaac) (國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」プロジェクト双方向論文翻訳)、2010 年 3 月

小田 真裕 研究補助員 日本近世史

担当プロジェクト「『國學院大學 国学研究プラットフォーム』の構築」

〔論文〕

- ・「嘉永・安政年間の宮負定雄—幽界への関心に着目して—」（『國學院大學研究開発推進機構』3、國學院大學研究開発推進機構）、2011 年 3 月

〔口頭発表〕

- ・「下総における幽冥観の展開—気吹舎門人とその周辺—」（日本宗教学会第 69 回学術大会、パネル「〈靈魂の学知〉と政治運動—19 世紀の鈴屋と気吹舎を焦点として—」、東洋大学）、2010 年 9 月 4 日
- ・「筑前における神職の平田国学受容—宮崎大門を中心に—」（九州史学研究会近世史部会例会、九州大学）、2011 年 3 月 5 日

〔その他〕

- ・「問題提起 佐原から考える平田国学」（『地方史研究』60-4、地方史研究協議会）、2010 年 8 月

一戸 渉 共同研究員 日本近世文学

担当プロジェクト「『國學院大學 国学研究プラットフォーム』の構築」

〔研究紹介〕

国学・和学という知的営為を、①近世日本に発生した日本の古き文物をめぐる学的考究と、②それらに基いて行われた歌文・物語・書画の創作などの実践一般を指す広義のものとして捉え、特にそれが 18 世紀の日本において遂げた展開について、近世学芸史の観点から実証的かつ総合的に跡付けることを研究テーマとしている。これまでは上田秋成及びその周辺の橋本経亮、荷田信郷などといった諸人物を対象に上方地域を中心として研究を進めてきたが、今後はそれに加えて、江戸やその他の地域をも含む近世日本全域へと検討の範囲を拡大してゆくことで、より包括的な国学・和学の理解に及ぶことを目指している。

〔論文〕

- ・「橋本経亮の蒐集活動—『香果遺珍』研究序説—」（『近世文藝』93、日本近世文学会）、2011 年 1 月

〔口頭発表〕

- ・「秋成と好古—天明・寛政期を中心に—」（2010 年度下半期北陸古典研究会発表会、金沢大学サテライトプラザ）、2011 年 3 月 26 日

〔その他〕

- ・（書評）「書評 田中康二著『江戸派の研究』」（『国語と国文学』88-3、東京大学国語国文学会）、2011 年 3 月

〔2009 年度までの主な研究業績〕

- ・「礪波今道と上方の和学者たち」（『近世文藝』87、日本近世文学会）、2008 年 1 月
- ・「春満と信郷—『春葉集』の出版まで—」（『鈴屋学会報』25、鈴屋学会）、2008 年 12 月
- ・「『土佐日記解』成立考—一字万伎・秋成の土佐日記注釈—」（『国語国文』78-5、京都大学文学部国語学国文学研究室）、2009 年 5 月

イグナシオ・キロス (Quiros, Enrique Ignacio Luis) 共同研究員 上代の国学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

小堀 馨子 共同研究員 古代ローマ宗教研究

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

[論文]

- ・「古代ローマにおける死者祭祀—レムリア (Lemuria) 祭考—」(『東京大学宗教学年報』28、東京大学宗教学研究室)、2011 年 3 月

[口頭発表]

- ・Keiko Grace Kobori, *How would Westerns Value the Similarity between Ancient Roman Religion and Shinto?*, Monotheism in Asia Bar-Ilan University – The University of Tokyo, 2010 年 8 月 30 日

エリック・シッケタンツ (SCHICKETANZ, Erik) 共同研究員 宗教史学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

高橋 典史 共同研究員 宗教社会学、日系宗教の海外布教研究

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

[論文]

- ・(共著)「企業活動と宗教をめぐるトラブルに関する研究序説—メディア報道の分析を中心に—」(井上順孝編『インターネット時代における宗教情報リテラシーに関する研究 研究報告書』、國學院大学平成 21 年度特別推進研究助成金研究成果報告書)、2010 年 7 月

[口頭発表]

- ・「現代日本の多様化する外来宗教と地域社会の対応—静岡県浜松市を事例に—」(慶應義塾大学東アジア研究所第 25 回学術大会、慶應義塾大学)、2010 年 6 月
- ・「商業／観光資源化に直面する伝統宗教」(日本宗教学会第 69 回学術大会、パネル「メディア報道と現代宗教研究—RIRC 宗教記事 DB の可能性—」、東洋大学)、2010 年 9 月

[その他]

- ・(書評)「ケネス・タナカ著『アメリカ仏教—仏教も変わる、アメリカも変わる—』」(『図書新聞』第 2989 号)、2010 年 11 月
- ・「研究ノート メディアは『1Q84』をどう読んだのか?」(『ラーク便り』49、宗教情報リサーチセンター)、2011 年 2 月
- ・(共著)「宗教がわかる Book ガイド (2010 年刊)」(渡邊直樹責任編集『宗教と現代がわかる本 2011』、平凡社)、2011 年 3 月

マシュー・チョジック (CHOZICK, Matthew) 共同研究員 カルチュラルスタディーズ・比較文化

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

ジャン＝ミシェル・ビュテル (BUTEL, Jean-Michel) 共同研究員

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

三ツ松 誠 共同研究員 幕末国学研究

担当プロジェクト「『國學院大學 国学研究プラットフォーム』の構築」

〔論文〕

- ・「「みよさし」論の再検討」(『史学会シンポジウム叢書 18 世紀日本の政治と外交』、山川出版社)、2010 年 10 月

〔口頭発表〕

- ・「飯田年平から見た平田国学」(日本宗教学会第 69 回学術大会パネル「〈靈魂の学知〉と政治運動—19 世紀の鈴屋と気吹舎を焦点に一」、東洋大学)、2010 年 9 月

〔その他〕

- ・(新刊紹介)「渡辺浩著『日本政治思想史 [17 ~ 19 世紀]』」(『史学雑誌』120-2、財団法人史学会)、2011 年 2 月

山梨 有希子 共同研究員 宗教学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

〔研究紹介〕

英国の宗教哲学者、J・ヒックを代表とする「宗教多元主義」を中心に研究しています。「宗教多元主義」は、1960 年代以降活発になってきた「宗教間対話」の理論的基盤にもなっているということから、実際に行われているキリスト教とイスラームの対話や仏教とキリスト教の対話などにも参加し、その対話内容の時代的変遷を追うといった調査も行っています。

〔口頭発表〕

- ・「21 世紀宗教間対話の潮流—各対話指針の比較より—」(日本宗教学会第 69 回学術大会、東洋大学)、2010 年 9 月

〔2009 年度までの主な業績〕

- ・(翻訳)『ジョン・ヒック自伝—宗教多元主義の実践と創造—』(間瀬啓允他共訳、トランスビュー)、2007 年 11 月
- ・「グローバル化する宗教多元主義」(『大正大学大学院研究論集』31、大正大学)、2007 年 3 月
- ・「宗教多元主義は相対主義ではない」(間瀬啓允編『宗教多元主義を学ぶ人のために』、世界思想社)、2008 年 10 月

土屋 博 客員教授 宗教学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

ナカイ ケイト・W (NAKAI, Kate Wildman) 客員教授 日本思想史

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

林 淳 客員教授 日本宗教史

担当プロジェクト「『國學院大學 国学研究プラットフォーム』の構築」

星野英紀 客員教授 宗教学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

山中弘 客員教授 宗教社会学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」